

(資料提供)

月 日	担当館名	電 話	担当者
9月25日	県立近代美術館	tel.088-668-1088 fax.088-668-7198	学芸員 仲田 吉川

所蔵作品展「徳島のコレクション2008-」の開催について

1.趣旨

この展覧会は、徳島県立近代美術館の所蔵作品をご紹介します。

所蔵作品展は、当館のコレクションの方針にあわせて、「20世紀の人間像」、「徳島ゆかりの美術」、「現代版画」の3つのコーナーに分かれています。

今回の「20世紀の人間像」のコーナーでは、ポップ・アートの作品にスポットを当ててご覧いただきます。前期(11月30日まで)と後期(12月2日から)で、一部展示替えを行います。また、「現代版画」コーナーでは、3期に分けて展示します。

2.会期 : 2008年10月4日(土)～2009年1月18日(日)

3.会場 : 徳島県立近代美術館
(展示室1、展示室2、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径)

4.開館時間 : 午前9時30分～午後5時

5.休館日 : 月曜日(ただし10月13日、11月3日、11月24日、1月12日を除く)、10月14日(火)、11月4日(火)、11月25日(火)、12月28日(日)～1月4日(日)、1月13日(火)

6.観覧料 : 一般 200円(160円)
高・大生 100円(80円)
小・中生 50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

高齢者(65歳以上)と障害者は観覧料が半額になります。

祝日及び振替休日は無料です。

小・中・高生は土・日・祝・振替休日、春・夏・秋・冬休み中の観覧料が無料になります。

「徳島教育週間」の11月1日(土)-11月7日(金)の期間は、小・中・高生は観覧料が無料になります。

「関西文化の日」の11月15日(土)と11月16日(日)は、観覧料が無料になります。

7.関連事業

【学芸員による展示解説】

- ・10月19日(日)、12月7日(日)
- ・午後2時～2時45分 展示室1(2階)
観覧券をお求め下さい。

8. 出品内容

当館の収集方針にあわせて、3つのコーナーで展示します。

【20世紀の人間像】 計42点

アンディ・ウォーホル 多色による4つのマリリン (1979-86年)、トム・ウエッセルマン モニカと透明なカーテン (1987年)、横尾忠則 よだれ (1966年)、岡本信治郎 女優の死(マリリン・モンロー) (1964年)など、ポップ・アートの作品にスポットを当てて展示します。

12月1日をはさんで一部展示替えを行います。

【現代版画】

・木版画 吹田文明 10月4日(土)-11月9日(日) 計17点

独自の木版画の世界を展開している吹田文明の、初期の木版画 機械 65 (1957年)から近作の 何処へ (2006年)まで、17点の木版画を展示します。

・石版画 吉原英雄 11月11日(火)-12月14日(日) 計15点

現代人の不安な心理ををテーマに、独自の版画の世界を展開している吉原英雄の版画のなかで、初期の石版画 ひまわり (1956年)から 二つ地平A (1988年)まで、15点の石版画を展示します。

・銅版画 中林忠良 12月16日(火)-1月18日(日) 計18点

小石、枯れ木、落ち葉などの自然物を銅版に腐食転写し、虚と実の世界を一層きわだたせた表現でよく知られている中林忠良の、初期の銅版画 根 (1962年)から 転位 86-地一 (1986年)まで、18点の銅版画を展示します。

【徳島ゆかりの美術】 計20点

今回は本県出身の伊原宇三郎 榻上二裸婦、三宅克己 信州田口雪景、広島晃甫 赤装女、山下菊二 わたしと鳥と音楽 (1)木偶人形芝居、市原義之 温雅秋日 などの作品を展示します。

12月1日をはさんで一部展示替えを行います。

このほかに、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に12点を展示します。

展示作品の合計 124点